

防災・減災まちづくりシンポジウム

～大西パネラーからの説明資料～

主催：近畿地方整備局

防災の輪 広げるコツ

～楽しく防災活動をやろう～

「生活防災」

防災の概念をぶっ潰せ

加古川グリーンシティ防災会

防災会長 大西 賞典

総務省消防庁 防災伝道師・防災アドバイザー

<http://www.greencity.gr.jp>

加古川グリーンシティの概要

- 14階建を中心とした7棟(81新耐震)
- 584世帯、約2000人が暮らす
- 1986年、加古川グリーンシティ完成入居開始
- 阪神淡路大震災以後、活発な活動を開始
- 楽しくなければ防災の輪は広がらない「楽しく防災活動をやろう！」
- 防災力アップ
- 防犯力アップ
- 地域力アップに大成功！



防災の概念をぶっ潰す活動

- 行政をあてにしない防災活動
- 臨機応変防災力
- 防災興味力
- インセンティブ型防災
- バックアップ型地域防災
- 共存型要援護者対策
- オリジナル防災訓練
- スキルアップ型防災
- **生活防災** ← **長期継続可能型防災**

京都大学 矢守克也教授推奨

市民レベルの防災には最適

防災の概念をぶっ潰す

- 人から教えられるだけの防災から
→自分から学び生み出す防災へ
- 自らが一歩踏み出すこと！
- 災害より一歩先を行く「自分だけの防災」
- その為のヒントは？
- 「防災 + α 」または「ひっつき虫的防災」
- インセンティブ(おまけ)付きの防災活動が必要！
- 教科書的な過去の想定・慣例・恒例に捕らわれない
- 「新しいスタイルの防災活動」を手に入れた



なぜ防災活動をするのかを「説くこと」が鍵！

- 「防災」とは**何**なのか？
↓
- 地域の人たちへ**伝える**ことは？
↓
- 「防災活動」への**スタートライン**を引く
↓
- 守るべきものを**定義**！
↓
- **防災とは「自分の大切な人を守ること」**
↓
- やるべき「**防災活動**」が見えてくる！

一連の流れ

行政をあてにしない防災

- 何でもかんでも「お役所まかせ」はやめる
- 「行政職員も同じ被災者」になることを認識
- 行政に頼らない「個人の意識改革」が重要！
- 「行政をあてにしない防災！」が大切
 - 危機管理職も専門職ではない(消防は別)
 - 自主防災組織組織率(カバー率)競争がメイン
 - 自主防災継続活動率は？
 - 行政側に維持継続対応できる部門がない
 - 防災に情熱を燃やす職員の育成
- 共にお互いを補い合い、共に歩む仕組みづくりを！
- 一般市民には知らされないものが多すぎる！
- 阪神淡路大震災や東日本大震災を繰り返すのか？

臨機応変防災力向上計画

- 被害の大きさや種類に対応した備えの必要性
- 言い換えれば、
「地震対策だけが最優先の防災事業ではない！」
- 「自分が受けるであろう災害は何なのか？」
- まず、それを知る必要がある！

- 地震
- 津波
- 台風
- 水害
- ???



- 受ける災害を知らずに防災活動をするのはバカだ！
- 他人に自分や自分の大切な人の命を預けるのか？

バックアップ型地域防災

- 「自分の大切な人を守る」為には
- 自分自身には**限界**がある
- 24時間「守る」ことは不可能！
- 予期せぬクラッシュ(**災害**)！
- もしもの保険がバックアップ！
- **不意の瞬間をカバーするバックアップ**
- 「**地域の人たち**」「**日頃の地域活動**」
- バックアップがあればリストアが可能
- 最悪でも初期化(リカバリー)が可能
- **可能な限りの短期間で「元に近い生活感」を取り戻せる**
- その為に定期的な**アップデート(地域活動)**の必要性



トラブル発生！データ消失！！



共存型災害時要援護者対策

- 高齢者？
- 乳幼児？
- 障害者？
- 他人には判らない？
- **要援護者の基準は？**

共に生きる！

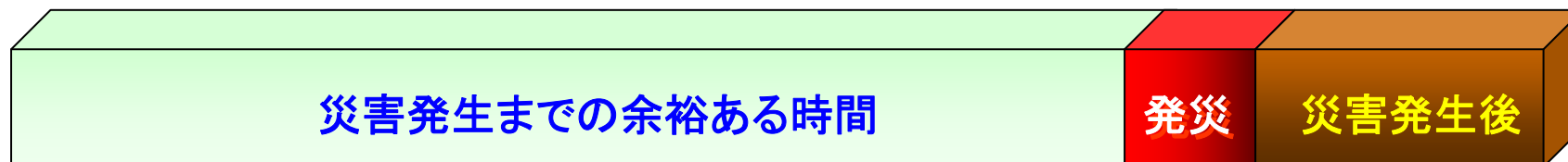


- ケガをしたら『誰もが災害時要援護者』
- 対策→高齢者・障害者を**脱社会化させる**ことがダメ！
- 社会の中で「**あなたが存在していること**」を自覚させる
- 自分のできることを自分のできる範囲で考えさせる
- 自分から発信することが大切「**日頃のあいさつ運動**」
- お互いがお互いを守るコミュニティづくり

要援護者対策

スキルアップ型防災

- 「人と人のつながりが防災には一番大切」なのか？
- 防災は個々の「スキルアップ」が必要
- 「人と人のつながりだけでは人を救えない」
 - 自分の子どもが溺れたら、助けるために泳ぎの技能が必要
 - 泳げなければ我が子も助けることができないことになる
 - だったら泳ぎ方も覚えようということになる
 - 自分の子どもが溺れているのに救えないようではダメ！
 - 逆に「助けられない」なら「危ない場所に行くな」ということ
- 災害が発生するまでの十分な余裕の時間にやる



- 全国一律防災訓練よりも「オリジナル防災訓練」

オリジナル防災訓練

- 自衛消防隊を自主防災組織に編入 (共同住宅)
 - DIG(災害図上訓練)
 - クロスロード
 - 災害ハンター(災害対応ゲーム)
 - 地域活動の防災化
 - お祭り
 - もちつき大会
 - 地域清掃
 - 各種イベント
- オリジナル化

生活防災

- 平常時と災害時の両方で役立つハードとソフト整備
- 日常生活の中で考える
- 生活の上での「利便性(お得)」
- 災害からの「危険回避(防災)」
- 両方で恩恵を得るようにすること
- 「災害対策の為だけに活動する必要はない」
- 「利便性」+「危険回避」=「生活防災」
- みんなの小さな力を集めて長期継続可能型の防災
- 少しのガソリンで→発電→蓄電→蓄電した電気で走る
- エコなハイブリッドカー的防災
- ハイブリッド防災をやろう！



時間がないので他の活動はHPで

- お時間があれば、
- 加古川グリーンシティ防災会HPを！
- すべて公開しています！
- 「できることを」
- 「できる範囲で」
- 「みんなで」
- 「楽しく」
- 「継続」
- <http://www.greencity.gr.jp>



スマイルアゲイン
プロジェクト